日本災害・防災考古学会

あらゆる自然災害や人為災害について、
各分野の情報交換により、防災に寄与
することを目的とする学会です。

第２回
総会・研究会

2023 年
９月 30 日(土) ／ 10 月 1 日(日)

オンライン開催

HP　Facebook

当会への入会・参加をお待ちしております。

2011 年　宮城県南三陸町防災庁舎

ご入会案内

当会の目的

本会は、地震・津波・火山ほかあらゆる自然災害ならびに火災・戦災など人為災害とそれに関連する諸現象・諸問題に関し、遺跡の発掘調査成果等を通してその実態を明らかにし、考古学および歴史学・理学・工学・防災科学ほか、研究の相互の情報交換により、今防災に寄与することを目的とする。（会則第２条）

加入資格

当会の趣旨に賛同される方は、どなたでも会員になれます。

会費

無料です。ただし、研究会等開催の際には発表者から経費を徴収することがあります。

事業

本会は、次の事業を行います。

(1)　研究会、講演会等
(2)　会誌ほか出版物の刊行
(3)　その他本会の目的達成 に必要と認める事業

加入申し込み

(1)　会員はメールなどのネット環境が必要です。
(2)　年会費はありません。
(3)　「入会希望」と明記し、下記を記載の上、事務局までメール（j.saigai.net@gmail.com）にてお申し込みください。
　１．氏名　　２．所属　３．住所
　4．メールアドレス

第２回総会・研究会

9 月 30 日（土）

10：00 ～ 11：00　　総会

― 12：30　研究会　開会 ―

1．12：35 ～ 13：15　「紀元前 3450 年頃に発生した福島県沼沢火山の火砕流災害と埋もれ木の発見」（山元孝広）
2．13：20 ～ 14：00　「沼沢湖噴火により枯死した埋もれ木の高精度年代測定と縄文土器編年上の位置の検討」（早瀬亮介・門脇秀典）
3．14：05 ～ 14：45　「沼沢火山の噴火と縄文社会への影響」（三浦武司）
4．14：50 ～ 15：30　「中世における桜島火山噴火の年代と災害」（桒畑光博・水野 嶺）
5．15：40 ～ 16：20　「大阪府河内平野における 11 ～ 17 世紀の河川氾濫と土地利用の変化」（井上智博）
6．16：25 ～ 17：05　「沖縄県うるま市沿岸に設置された護岸の銃座 (ライフルピット) の調査」（横尾昌樹・仲田眞一郎）
7．17：10 ～ 17：50　「鹿児島県指宿市における戦跡考古学の現状と課題」（新垣 匠）
　オンライン懇親会

10 月 1 日（日）

8．9：05 ～ 9：45　「仙台平野における超巨大地震津波間隔 500-800 年説批判
　―石巻市震災遺構門脇小学校展示の産総研コアの年代に関する考古学的検証―」（相原淳一）
9．9：50 ～ 10：30　「貞観津波襲来当時の多賀城跡南方潟湖残存説に対する批判」（柳澤和明）
10．10：35 ～ 11：15「東北地方太平洋沿岸における歴史津波の評価をめぐって」（蝦名裕一）
11．11：20 ～ 12：00「三陸海岸～仙台湾地域の古津波履歴に関する地質学的調査の現状と課題」（菅原大助）
12．12：50 ～ 13：30「伊豆諸島における歴史・先史時代の津波研究」（後藤和久・海田比呂子・石澤尭史）
13．13：35 ～ 14：15「竪穴住居が沈んだ日（あるいは遺構変形論）　古墳時代中期・５世紀・和泉期大地震
　―東京都調布市染地遺跡第 128 地点 SI04 の調査から―」（及川良彦）
14．14：20 ～ 15：00「神奈川県の遺跡から 見つかった地震跡」（上本進二）
15．15：10 ～ 15：50「昔の痕跡を今に活かす ―考古学の社会貢献―」（矢吹俊男）
16．15：55 ～ 16：35「災害・防災考古学の方法」（斎野裕彦）
17．16：40 ～ 17：20「史跡の防災を考える」（高妻洋成）

― 17：20　研究会　閉会 ―